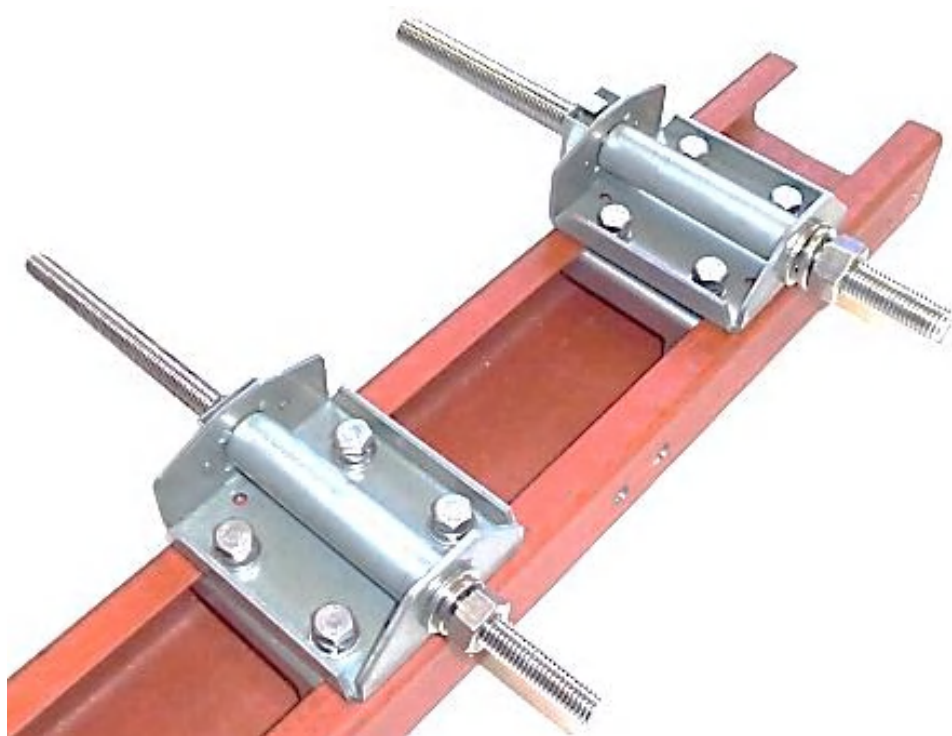
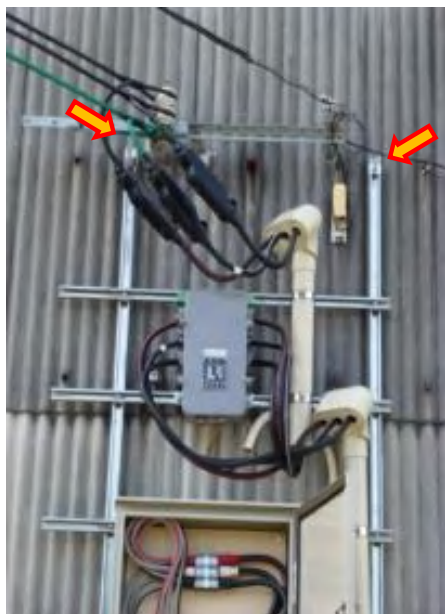


施工説明書



使用例



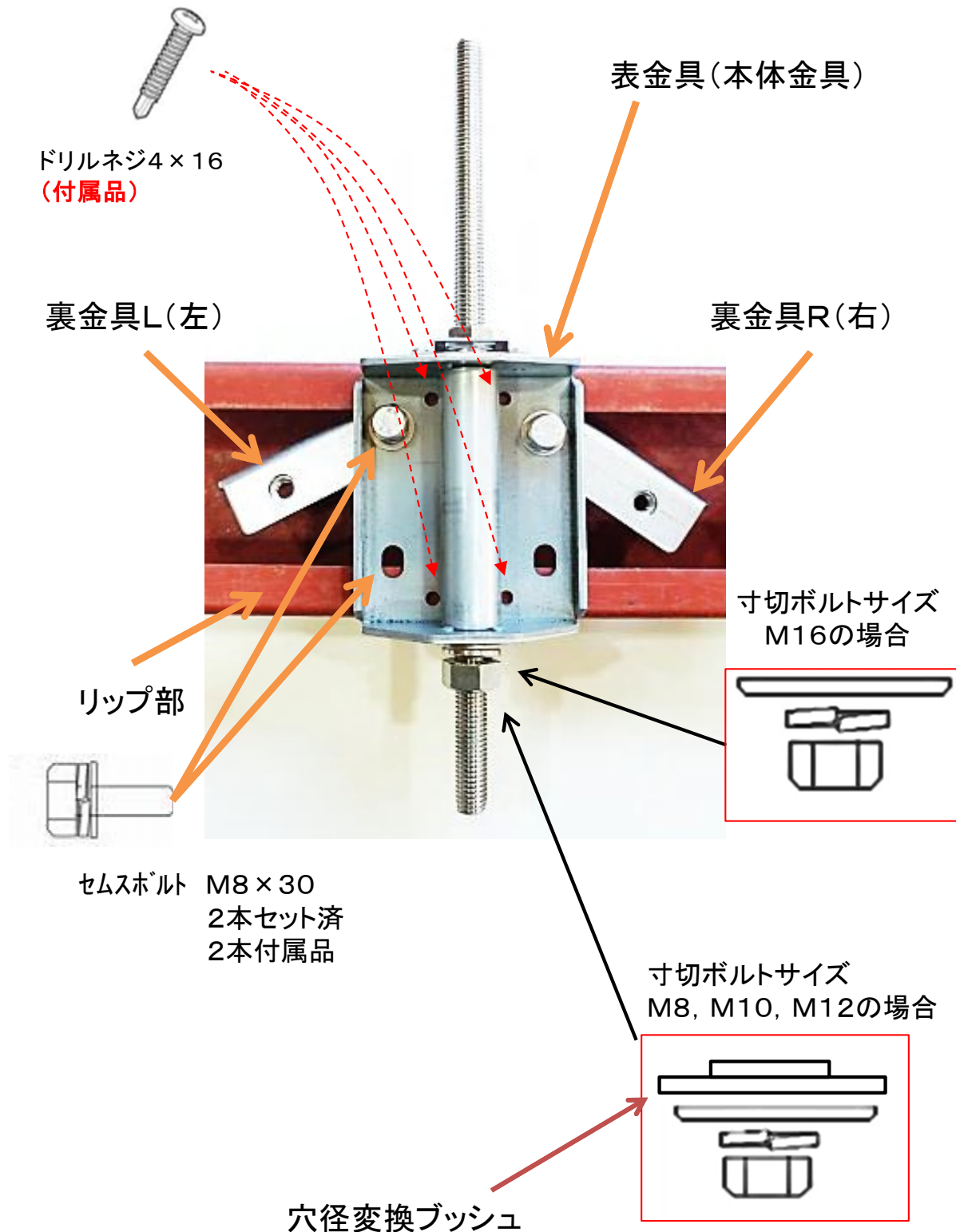
2022版

目次

施工手順		ページ
	組立図	3
1	ケガキ・穴あけの注意点	4
2	壁面への穴明け	5
3	金具取付	6
4	金具センター合わせ	7
5	固定ボルトの増し締め	7
6	ドリルネジ固定	8
7	寸切ボルト長さ調整	9
8	防水処理	10
9	シリコンコーキング作業・コーキングキャップ [®] 取付	11
10	対象物の取付、固定	12
	仕様書	13
	お礼とお願い	14

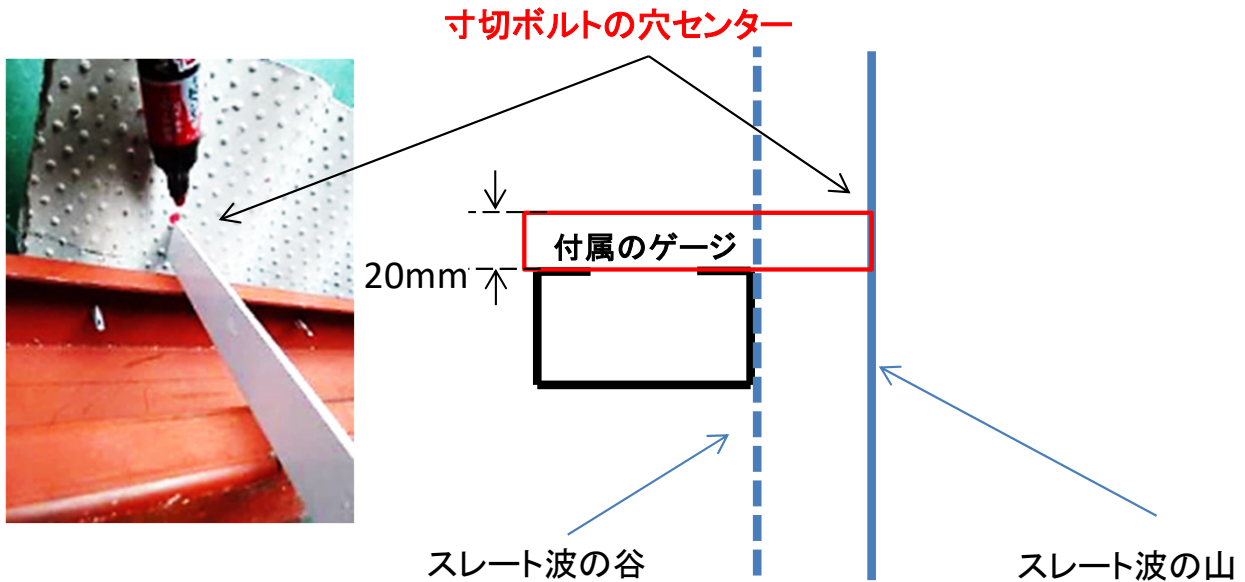
楽々Cチャン金具・ハサミ型

組立図



①ケガキ

寸切ボルトを突き出す位置のセンターに印を付けます。



- 付属の**墨だしゲージ**を使ってスレートの波の**頂点**(山側)に印をつけます。
- リップ溝形鋼端面から**20mm**の位置が**穴のセンター**になります。
- **谷側には絶対に穴をあけない**様にしてください。
- 谷部には金具が設置できません。

穴あけ前の注意点



推奨穴あけ工具

- 鉄鋼ドリル(小さい径の場合)
- 超鋼チップ[®]のホルソー(回転専用)

穴明けは**回転モード**でご使用下さい。
ハンマー、振動モードはスレートが割れる恐れがありますので、使用しない様にご注意ください。

②壁面への穴明け

小波スレートの場合

寸切ボルト径 M8, M10, M12



ケガキ位置(穴センター)に穴をあけて下さい。

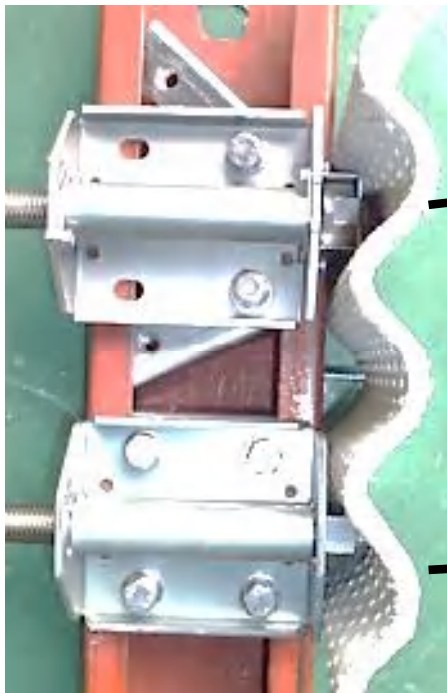
穴明けサイズ

M8用	10~12φ	程度
M10用	12~16φ	程度
M12用	14~18φ	程度

寸切ボルト径 M16の場合

寸切ボルトサイズがM16の場合、2種類の方法があります。

ナットポケットを付けた
まま設置する場合



- ① センター穴をあける
- ② 屋外側から42~45φの穴をあける。



注意: 穴あけは屋外から

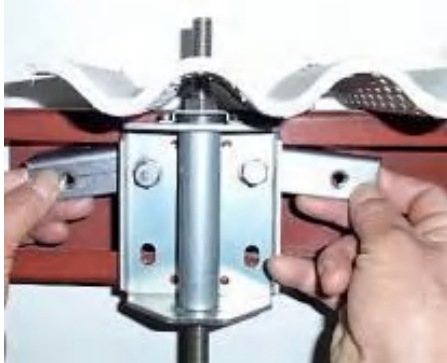
ナットポケットを
取外した場合



③ 金具取付

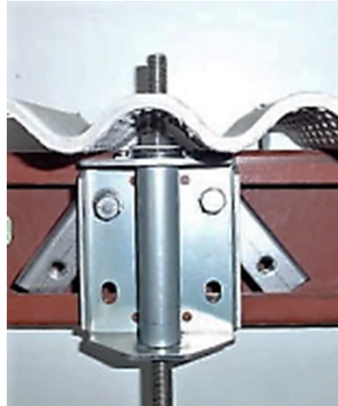
寸切ボルトをつけたまま挿入できます

①



裏金具を広げた状態で寸切ボルトを入れながらリップ溝形鋼に乗せます。

②

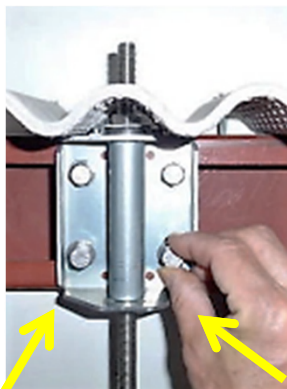


裏金具を回転させ、リップ部の裏側へはめます。

③



④



セムボルトM8×30を**仮付け**します。
⇒2本



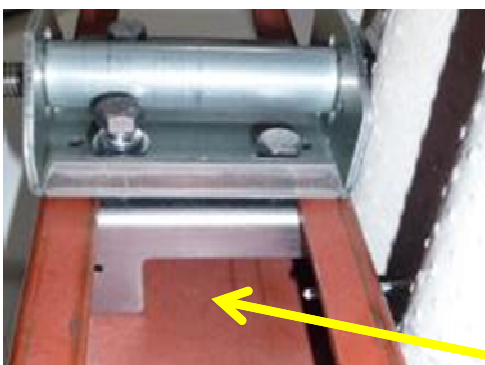
実際には裏金具を手で保持して行います。

⑤



セムボルト4本を電動ドライバー等で、**金具が軽く動く程度まで**締めます。
完全に締めないで下さい。

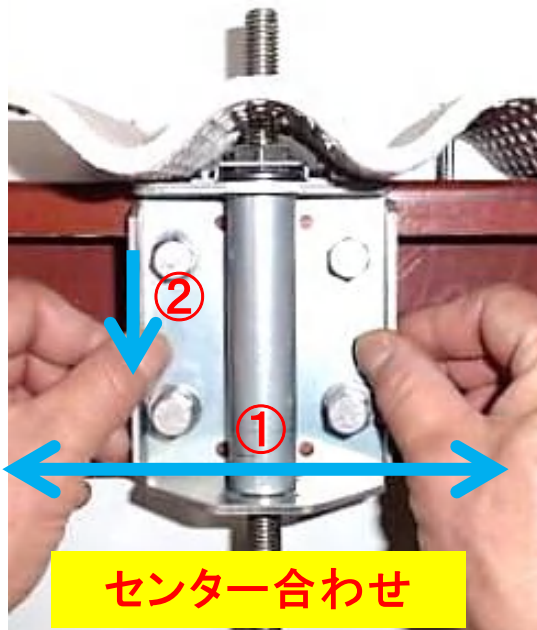
電線注意



リップ溝形鋼に電線等が収納されている場合は、挟みこまない様に注意し、裏金具の収納スペースに納めて下さい。

電線収納部

④ 金具センター合わせ



- ① 金具を左右に移動して、寸切ボルトがスレートの穴のセンターになる様に、調整します。
- ② 裏金具を手前側へ押し当て、リップ溝形鋼と金具を直角にして下さい。
※斜めになると、寸切ボルトも斜めになります

⑤ 固定ボルトの本締め



M8セムスボルト4本をソケットレンチ等で本締めして下さい。

締め付けトルク⇒104kgf・cm

重要

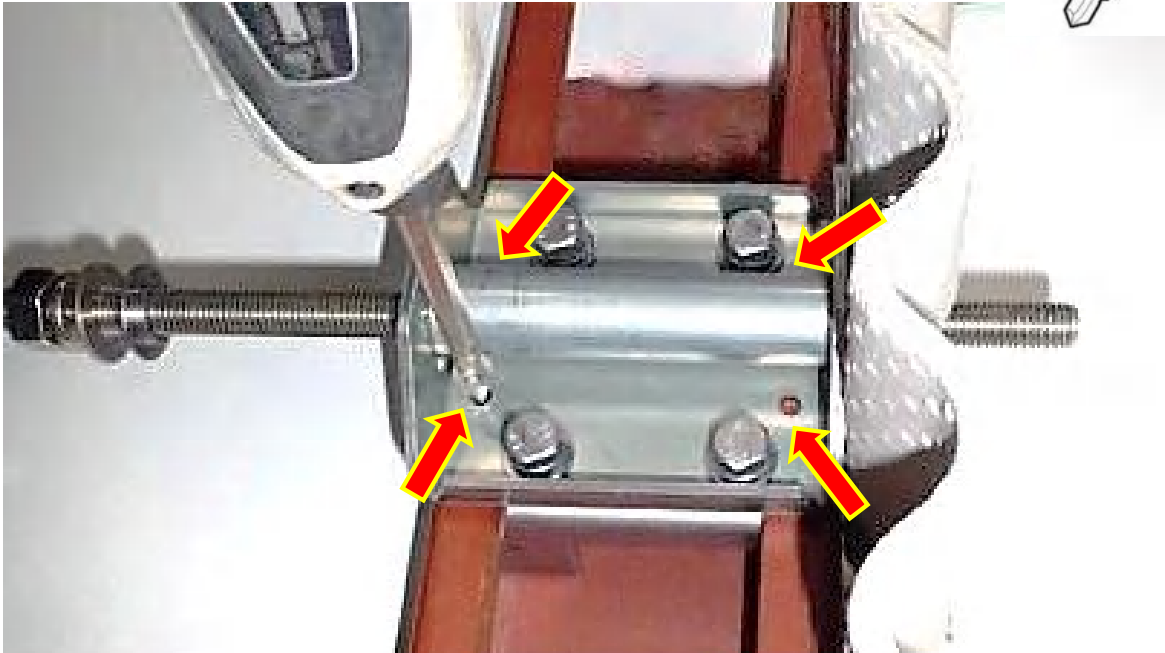
締め付け時、位置がずれない様、本体をしっかり押さえて、締め付けて下さい。

インパクトドライバーをご使用の場合、締めすぎにより金具の変形、ボルトの焼き付きや破損等の恐れがあります。



⑥ ドリルネジ固定

ドリルネジを4か所に打ち込んでください。⇒付属品



締めすぎに注意して下さい。

ドリルネジは必ず打ち込んで下さい。

M8ボルトを補助し、金具ずれを防止の為に重要な作業です。

⑦ 寸切ボルト長さ調整



付属の寸切ボルト回しゴムビットを寸切ボルトに差し込んで、回して下さい。
※ご注文状況により付属になっていまい場合があります。

ナットポケットを付けたま
まで設置する場合



スパナ等で増し締めして下さい。



ナットポケットを
外した場合



ナットポケットを外した場合はナットが
空回りしない様に寸切ボルトを固定して、
増し締めして下さい。



ネジ山を傷つけない様に注意してください。

⑧ 防水処理

下地処理(スレート清掃・プライマー塗布)

① 壁面スレートの掃除

スレートの表面をブラシ等できれいに清掃し、ごみや汚れを、落として下さい。

※ 塗装が剥げている箇所は、特に注意して下地処理して下さい。

② プライマー塗布

- 大波スレート・小波スレート(未塗装)の場合は(スレート、コンクリート用)
- ガルバ波板・トタンや塗装された大波スレートや小波スレート場合は塗装面用をご使用下さい。

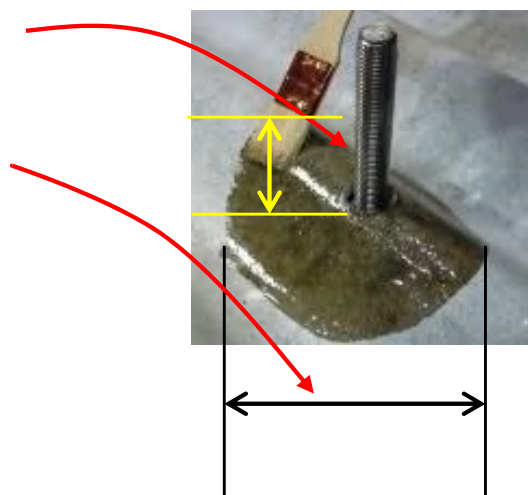
寸切ボルト及びスレート穴周りにもプライマーを塗布します。

① 寸切ボルト

② スレート穴の外周

(コーキングカバーより広く塗布)

※ ポリカ、塩ビ等の樹脂製波板への
プライマーはしないでください。



ポリカ波板に工事をされる業者様への重要事項

ポリカ波板は一般のシリコンコーキングでは接着性がよくありません。

必ず、ポリカ専用のコーキングをご使用ください。

詳しくは、コーキングやポリカ屋根材のメーカーにお問い合わせ下さい。

タキロン様ホームページより抜粋(ポリカ向け推奨コーキング)

モメンティブ・パフォーマンス・マテリアルズ・ジャパン合同会社 : トスシール380

東レダウコーニングシリコーン : トーレシリコーンSE960

信越化学工業 : シーラント72

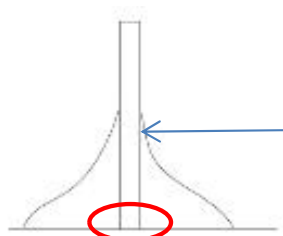
セメダイン : シリコーンシーラント8051N

⑨ シリコンコーキング作業・コーキングキャップ取付

コーキング塗布



- ① 寸切ボルト
- ② スレート穴と寸切ボルトのすきま
- ③ スレート穴の外周(コーキングカバーより大きく)



ボルトのコーキングも忘れずに行ってください。

ボルトの付け根も念入りに。

コーキングカバー取付・コーキング仕上げ



- ① コーキングカバーをかぶせます。

- ② コーキングカバー内側に適度なコーキングを残しながら、外周をヘラで軽く押さえます。



- ③ コーキングカバーからはみ出たコーキングはヘラで、コーキングカバーの上へ延ばして下さい。

- ④ コーキングカバーの口と寸切ボルトの接触部分にコーキングを塗布し、ヘラで外周をなぞります。



防水について

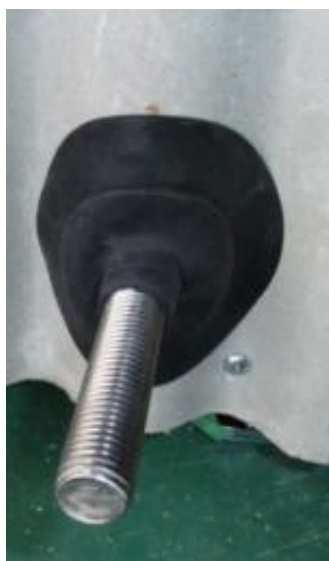
防水の役目はプライマーとコーキングが担っています。

コーキングカバーは内部のコーキングを紫外線や、衝撃等から守り、耐候性を高めるものです。

プライマーとコーキング処理が十分でない場合は雨漏りの原因になります。

十分注意して作業を行ってください。

⑩ 対象物の取付・固定



付属のナットで対象物を固定して下さい。

※ ご注文状況により付属していない場合があります。



※ 便宜上、写真ではコーキングを省いています。実際にはコーキングを行って下さい。

仕様書

「楽々Cチャン金具・ハサミ型」

金具種類

金具形式	対応リップ溝形鋼	対応屋根材
RCK-HS1050※	100×50×20	あらゆる屋根材に使用可
RCK-HS7545※	75×45×15	あらゆる屋根材に使用可

※ M8,M10,M12,M16 組み換え可能

詳細仕様

部材・付属品名称	仕様・その他	材質
本体表金具	板厚:3.2mm	ZAM鋼板
本体裏金具	板厚:3.2mm M8ナット組込	鋼板製 高耐食SSKメッキ
センターパイプ	27.1φ	ZAMパイプ
寸切ボルト	M8、M10、M12、M16 より選択	SUS304
内蔵ナット	上記選択と同サイズ	SUS304
取付ボルト	M8×30セムスボルト P=3	高耐食SSKメッキ
ドリルネジ	SGメッキ 4×16	SUS410

御礼とお願い

この度は弊社の各種金具・架台をご指名頂きまして誠にありがとうございました。

弊社は「お客様に喜んで頂く事が会社の喜び」と考え、少しでも喜んで頂ける商品作りを目指しております。

弊社商品に対してのご不満、ご意見、ご質問等がありましたら、どんな事でもお知らせ頂ければ幸いです。

又、「こんな金具がほしい」「こんな工具や部品があったらいいな」と日頃お感じになられている事がありましたらご一報くだされば幸いです。開発検討させていただきます。

又、特注品も積極的に取り組んでおります。

これからも、皆様喜んで頂く商品作りをモットーに商品開発に励んでまいりますので、今後とも宜しくお願い致します。

株式会社まえた

社員・スタッフ一同

大波～トタンまで各種波板屋根・壁面用
太陽光パネル・各種機器取付用金具・架台

鉄骨・木造対応

楽々Cチャン金具
楽々Cチャンボルト

株式会社 まえた (金具工房 まえた)

<http://www.c-kanagu.com>

兵庫県加西市北条町横尾1079-2

TEL:0790-35-8880 FAX:0790-43-1249